

古里への便り②



ふる里山田同郷の会会員
埼玉県川口市
井上美枝子さん(63歳)
(境町出身・旧姓舟田)

さて、残りわずかとなった07年を振り返れば、美しい国の軸はポキリと折れ、前代未聞のドタキャン総理の醜態は何を言わんやで、

数日後 波は知らないふりをする
背水の明日を危惧する雪をんな

一体、日本丸はどこに向かって走っているのでしょうか。「和を尊び、無理をしない」をポリシーにしていた善幸さんも、きっと草葉の陰で苦虫をかみつぶしていることでしょう。近年、鈴木善幸顕彰を見聞するにつけ、現役時代と一緒に旅した思い出をあらためて反すうすれば、かれこれ25年前のこと。『初秋の爽やかな風にはためくのぼり、盛岡駅前広場の歓迎ムードは沸点を超えた人、人、人。歓迎の名会場は、いづこも黒山の人だかり。まなざしは熱く優しく光る。沿道は老若男女の小旗と笑顔、ゆく先々での歓迎ぶりは筆舌に表白できぬものあり。ことさら故郷山田の熱気は言わずもがな』。今、25年前に回帰して思うことは数多。古今東西盗りいす取りゲームで波高しの世相に「無理せず和を尊び職を果たす」とおっしゃる日本丸の船長は孤独な立場、熱い歓迎に感涙したのは鈴木善幸総理だったやもしれませぬ。

昭和57年9月5・6・7の3泊4日「鈴木善幸総理のお国入り」は9月11日(土)ゴールデンタイムの午後10時から54分の放映でテレビ岩手の独占番組でした。同行取材のレポーター役は、私の人生においても生涯忘れ得ぬ最初で最後の歴史的熱い物語になりましたが、この先もよま話の中で語り継いでゆくとつもります。

友よ！帰省の折は千語万語を楽しみにしています。

イラスト



みんなのスペース



にしむら こうすけくん
(織笠保育園・6歳)

ぼくのゆめ

ぼくはオニヤンツなとちの虫が大好きなので、大きくなったら昆虫屋さんになるんだ。

投書

どんなことでも結構です。ただしお寄せください。

「夕市の会」の仲間へ感謝

10年間、寝たきりだった母を自宅で介護し、見送ったのは4年前の冬でした。介護づけの生活から開放されて、何もかもが楽になるはずなのにどうしてなのでしょう…。ただただ気持ちも体も疲れるばかりなのです。そんな落ち込む私を救ってくれたのは「夕市の会」の仲間でした。「つらいんだけど」と弱音をボソツと言葉にできる場所が私にはあり、一緒になって話を聞いてくれる人がたくさんいたのです。皆さんのおかげで、しばらくして症状も少しずつ回復していきました。誰もが良い

マナー守って釣りをして

毎朝愛犬を連れて散歩に出掛けます。ある日、前須賀の浜辺を歩いていると、近づいても逃げない2羽の浜千鳥が寄り添うようにしていた。一組のカップルかと勝手に想像して夫婦愛の強い証のように思えた。そんなロマンチックな思いとは裏腹に、その一羽のくちばしには釣り針の付いたテグスがかかっていた。その千鳥は餌もとれず体は衰弱し、寒さに耐えているようだった。気遣うもう1羽を見た時、本心に腹立たしい気がした。身勝手な釣り人のために罪のないこの野鳥たちがこんな目に

遭わなければならないのか。一部の心無い者の仕業かも知れないが、物があふれているとはいえず、あまりにも使い捨ての世の中になってしまった。釣り人よ肝に銘じてマナーを守って楽しんでほしい。

西館隆(船越・?歳)

今年も町民芸術祭を堪能

町民芸術祭が11月3日と4日に中央公民館などで催された。作品を鑑賞してきたが、どの作品も回を重ねることに充実していることを実感した。各部門を見て歩くうち、高齢者大学の作品展展示室が今までのように階段を上らずに一階の和室に移されていたのに好感を持てた。また、「見なおそうふるさと」の歴史と文化”をテーマにした埋蔵文化財公開には目を見張るものがあり、6千年も前の出土品、しかも町内の遺跡から出土土器などを心行くまで堪能。自分だけでなく多くの人に芸術祭へ足を運んでいただきたい気がした。

齋藤忠雄(船越・82歳)

健康予防の大切さを実感

11月7日、南地区健康教室に参加してみました。保健師さんによる食事についての講話とス

トレッチ体操、最後は氷川きよしさんの「ズンドコ節」に合わせた健康ダンスなど、少人数でも楽しく有意義な2時間を過ごさせていただきました。1日3食、バランスよく、腹八分、間食はしない、太陽を浴びながら数十分のウォーキングなど、簡単なことなのに毎日続けることは難しいもの。自分の健康は自分で守ることが基本であり、健康は自分のため、家族のため、そして医療費改革の一環となります。痛くなる前に予防することが大切だと感じました。

佐藤豊子(境町・68歳)

夜のしじま

般若心経書きおえて
仰ぐみ空に十三夜

菊地サカエ(織笠・72歳)

ゆく秋に

今が盛りとサルビアが
国道沿いに咲きみだれをり

大川ヒメ子(大沢・63歳)

立冬の

雨窓たたき知らせてる
早くも霜焼け紅指なりし

大町テイ子(大沢・?歳)

わずかにも

残る視力に朝の陽の
窓の明るさに眼に写る

菊地孝進(船越・86歳)

一人旅どこへ行くのか

佐藤兼男(荒川・?歳)

宮古吹奏楽団第10回定期演奏会

指揮者体験コーナーや宮古市出身のプロトランペッター牧原正洋さんとの共演など、楽しい企画が盛りだくさんです。多数ご来場ください。

- ◆日時 12月15日(土)
午後6時開演(午後5時半開場)
- ◆場所 宮古市民文化会館大ホール
- ◆入場料 400円(当日450円、小学生未満無料)
- ◆プレイガイド 宮古市民文化会館ほか
- ◆問い合わせ 宮古吹奏楽団事務局(千代川 ☎82-5355) へどうぞ。

◆投稿規定 ▷住所、氏名、年齢、電話番号を明記。ペンネーム、匿名での掲載を希望する方はその旨をさらに付け加えてください▷住所、氏名が記入されていないものは掲載しません▷営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載できません▷投書を添削することがあります。
◆あて先 〒028-1392(住所不要)山田町役場総務課情報管理担当へ。